

野島断層と阪神・淡路大震災

1. 兵庫県南部地震発生＝1995年1.17 5:46

震 源：明石海峡（北緯 34 度 35 分、東経 135 度 03 分 深さ 14km）

震 度：最大震度 7（揺れの強さ、10 段階で 7 が最大）

南は鹿児島、北は福島・新潟まで揺れた。

マグニチュード：7.3（地震のエネルギーの大きさ）

内陸直下型地震：プレート内部で岩盤が破壊（ズレ動く）された。

プレート境界型（海溝型）や火山性の地震もある。

2・野島断層

活断層：数十万年～200 万年前に活動して、今後も活動して地震を起こすかもしれない断層。日本では約二千本の活断層が発見されていて、それぞれに数千年の周期で活動する。

野島断層の活動周期は約 2,000 年。以前から活断層として知られていた。名前は地名からつけられている。

大地が動いた：北は江崎灯台付近から南は富島地区まで約 10km に亘り地表にズレが現れ、山側の地面が最大 130cm 隆起し、右横ズレ最大 210cm を記録した。

野島断層は右横ずれ逆断層：地面が上がる逆断層、下がる正断層
左右にずれる横ずれ断層がある。日本では正断層は少ない。

3. 阪神・淡路大震災

兵庫県南部地震で起きた災害を阪神・淡路大震災という。

被害状況：死者 6,434 名、行方不明者 3 名、全半壊家屋約 46 万世帯
重傷者 10,683 名、軽傷者 33,109 名、被害総額約 10 兆円
約 5,000 人（80%）が家屋の下敷きによる圧死。

4. 旧北淡町の記録

町 勢：人口 11,214 人 面積 51.07 k m² 世帯数約 3,700 世帯

被害状況：全壊 1,057 棟 半壊 1,220 棟 一部損壊 1,030 棟

死者 39 名 重傷者 59 名 軽傷者 811 名

救出作業：6:30 災害対策本部設置

約 300 名が生き埋めになったが当日のお昼すぎには全員救出。近所の人は誰がどの部屋で寝ているかまで知っていた。565 名の定員＋OB 約 500 名を加えると人口の約 1 割が消防団として活動。

17:00 頃には行方不明者 0。

避難生活：避難所は最大 19 か所、3,650 名が避難。

仮設住宅は 12 団地 600 戸。2,038 名、（老人世帯 337）
3 月 6 日から入居開始。

避難所生活が困難な人は老人ホーム、病院、親類宅へ。

支 援：①自衛隊

1 月 17 日～3 月末まで 延べ 31,788 名

道路の確保、倒壊家屋の撤去、給食・給水支援

②ボランティア等

全国から 1 日最大 215 名、延べ 8,500 名

救援物資 3,910 件、義援金 2,468 件

鳴門大橋が無事だった、幹線道路の車の通行が可能だった
なので各支援はおもに四国 4 県にお世話になりました。

5. 教訓

①隣近所とのコミュニケーションの大切さ

②防災意識の重要性（備え、訓練、命をどうやって守るか）

③家屋の耐震、住民への情報伝達方法の確立、災害に強いまちづくり

④災害後のこころのケアの重要性